

レインボー通信

5月号

2025年5月10日つくばみらい市読み聞かせ「虹の会」発行



6月のおはなし会

☆とき：6月14日（土）午後2時～2時30分

☆ところ：みらい図書館 supported by 成島建設

つくばみらい市立図書館 本館 おはなし室（1階）

プログラム

① 手あそび「ポツン ポツ ポツ」

② 絵本「ぽつ ぽつ ぽつ」 増田純子/さく 福音館書店

③ 絵本「てるてるぼうずと ふりふりぼうず」 せなけいこ/作・絵 金の星社

④ ビックブック「はっぱの おうち」 征矢清/さく 林明子/え 福音館書店

⑤ パネルシアター「とんでったバナナ」 著者/古宇田亮順・松田治仁（株）メイト



担当：柳、杉江

次回は7/12（土）です。

主催：読み聞かせ「虹の会」

4月の読み聞かせ

小学校・保育園での読み聞かせはありませんでした。

社会福祉法人

【ゆっくら】4/16（水）10:30～11:00

（利用者とスタッフ） 6人 伊藤、杉江

O ラプンツェル「子どもに語るグリムの昔話③」より 佐々梨代子・野村滋/訳 こぐま社

E 落語絵本 芝浜 下 川端誠 ロクリン社

●今年度から、会場が板橋マリーナに変わりました。

ディズニー映画「塔の上のラプンツェル」でお馴染みですが、本来は、グリム兄弟が集録した昔話。壮大なドラマで、物語の展開にはらはらしながら聞き入ります。終盤、荒野に放り出されたラプンツェル、そして盲目で彷徨う王子。二人はどうなるのか、と……。

ラプンツェルとは、植物の名前から名付けられたそうです。

「芝浜」は、2月の続き。50両入っていた拾った財布はどうなったのか？本当に夢だったのか？魚屋のくまさんのその後の生活から、おかみさんが打ち明けてくれた真実に、くまさんのセリフが面白いオチで終わります。江戸時代の町人の暮らしぶりもわかります。

春に 谷川俊太郎

この気もちは なんだろう

目に見えないエネルギーの流れが

大地から あしのうらを伝わって

ぼくの腹へ胸へ そうして のどへ

声にならないさけびとなってこみあげる

この気もちは なんだろう

枝の先の ふくらんだ 新芽が心をつつく

よろこびだ しかしかなしみでもある

いらだちだ しかもやすらぎがある

あこがれだ そしていかりがかくれている

心のダムにせきとめられ

よどみ 渦まき せめぎあい

いま あふれようとする

この気もちはなんだろう

あの大空の青に 手をひたしたい

まだ会ったことのない すべての人と

会ってみたい 話してみたい

あしたとあさつてが 一度にくるといい

ぼくはもどかしい

地平線のかなたへと歩きつづけたい

そのくせこの草の上でじっとしていたい

大声でだれかを呼びたい

そのくせひとりで黙っていたい

この気もちはなんだろう

